

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。
第23回目は、MSさんにその経緯を語っていただきます。



私は何を考えるにしても、行動するにしても、ほぼ全ての事柄において自分ファースト、つまり自分を優先してきました。そして仕事や家庭やプライベートにおいて、私の立場が悪くなると、その場しのぎの心無い謝罪や嘘を織り交ぜ、多くの人を欺いてきました。

そんな救いようのない私ですが、去年の秋から、毎週礼拝後に、岩間先生に学びの時間を取っていただき、聖書を学び始め、その中で、私の3つの大きな罪を神様に告白する機会を頂いたのです。この3つは、途方もない数多くの罪の中でも、口に出すのも辛い3つの内容です。

まずは、2008年のリーマンショックの最中、数億にも及ぶ負債を抱え、私の放漫経営により会社を潰しました。その結果、特に金融機関の方々には多大な迷惑をかけ、家族にも、自宅の処分や、金融機関の方々の朝夕問わすの来訪により、怖い思いを抱かせました。

そして2つ目は、家族に対する裏切りです。自己破産後の2009年に今の会社を立ち上げて、業種を1つに絞り、運良く軌道に乗せる運びとなりました。その当時の私は「数億飛ばしても余裕やんけ!」と天狗になり、破産地獄を支えてくれた妻や息子たちと過ごす時間が億劫となり、事務

所に寝泊りして、家庭を顧みない日々が増えたのです。今振り返ると、鬼畜のような数々の所業を長年繰り返して参りました。

3つ目は、自分の母親を、幼少期からこの年になるまでずっと避けてきたことです。その結果、今でも私から母親に連絡することはありません。幸い妻が、私と母親の関係を繋いでくれたお陰で、定期的に会うことが出来ています。そんな親不孝の数々を繰り返してきた私が、救われるなんてありえない、都合が良すぎる、という心境でした。

まとめますと、私の大きな3つの罪は、真実をソフトに告白しているにすぎません。けれども、学びの中で、自分の罪を悔い改め、イエス様がこの私の罪を赦すために命を捨ててくださった、十字架に釘づけにされて血を流してくださった、ということを教えていただきました。そして「子よ、しっかりしなさい、あなたの罪は赦された」というマタイの福音書9章2節のみことばを信じました。その時、心がスーッと軽くなりました。

ただ、こんな私も、熱心な妻の「教会へ行こう!」という最初の言葉をきっかけに、ここまで導かれました。私のために、妻や先生方のどれほどの祈りがあったことかと思えます。みことばを通して、神様を信じる事が出来ました。感謝の気持ちしかございません。本当に有難うございます。

6/29(日) 15:00~16:30 入場無料

すずトリオコンサート

今回初めて、すずトリオの演奏をお届けします。心安らぐひとときをお過ごしください。

ライブ配信も行います。ホームページからご視聴いただけます。

「すずトリオ」

歌、バストロンボーン、ジャズピアノのユニット。家族で演奏活動をしており、歌の大森 花、バストロンボーンの大森 糧が夫婦で、大森 花の父、大森一宏がジャズピアノを担当する。ジャンルを超えて心にしみる歌声や穏やかなピアノ、バストロンボーンの温かい音色が心を落ち着けてくれると定評がある。すずトリオのCD「hana uta」発売中。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40

希望のダイヤル (聖書のお話)

0797-77-3746

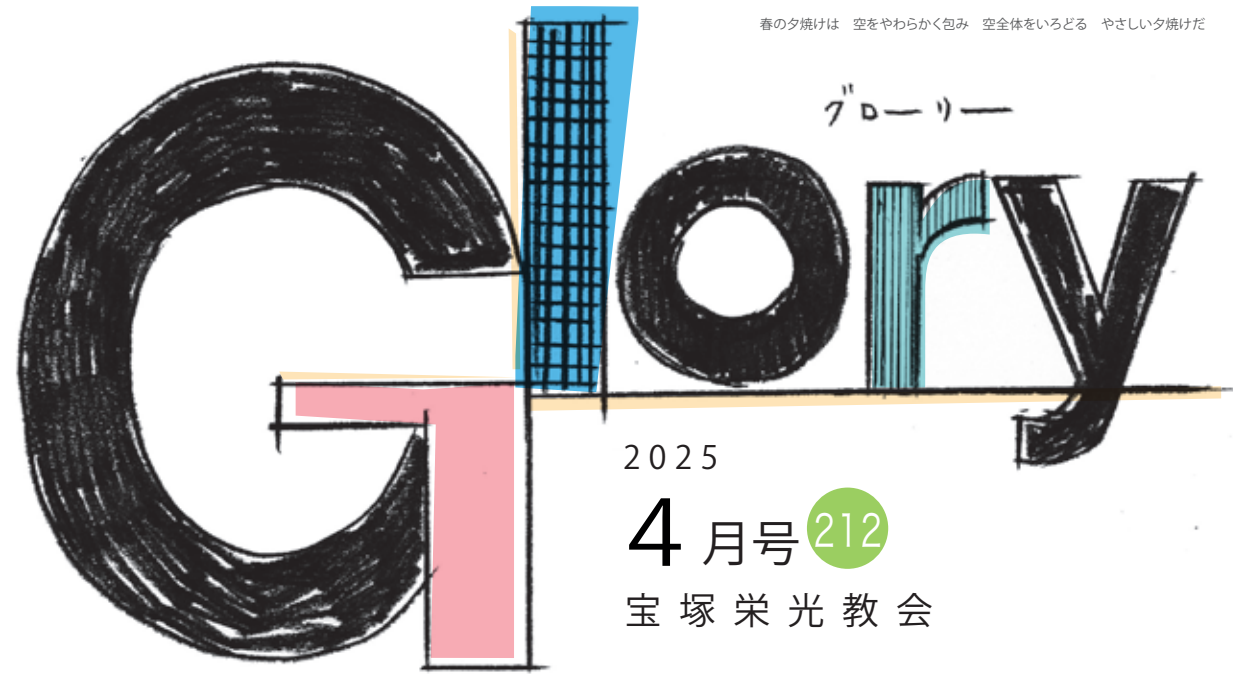
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

インターネットでも
配信中



わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

春の夕焼けは 空をやわらかく包み 空全体をいろどる やさしい夕焼けだ



復活の希望に生きる

今年のイースターは、4月20日です。キリストの復活を心から感謝する時です。

多くの人は、死人がよみがえるなんて、そんなばかげたことがあるか、と言います。確かに人間の理性では考えられないことです。しかし、キリストは神の子でした。神と等しいお方でした。そのお方が、死んでそのまま終わってしまうはずはありませんでした。

聖書にこのように書かれています。「しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。」(コリント人への手紙第一15章20節)

キリストが十字架で死なれたことは、学校でも教えられます。でも、三日目に墓の中からよみがえられたことは、教えられません。非科学的・非理性的に思えるからです。しかし、キリストの復活こそ、私たち人類の大きな希望です。なぜなら、私たちを死の恐れから解放するのは、キリストの復活だけだからなのです。

私たちは皆やがて死にます。そして、たいていの人は死を恐れます。死の向こうにどんな闇の世界が広がっているか、わからないからです。人はなぜ死ぬのでしょうか。その原因は、罪です。神様に罪を犯しましたから、人は死ななければならなくなりました。死は罪の結果です。

キリストは、私たちのその罪のために、十字架にかかって死なれました。自分の罪を悔い改め、十字架を信じれば、私たちはすべての罪が赦され、救われます。そして、キリストが死の中からよみがえられたことを信じる者には、永遠のいのちが与えられ、死に勝つ力が与えられます。私たちを死の恐れから解き放つのは、この十字架に死んで、よみがえられたキリストだけです。

あなたもぜひ、キリストの十字架と復活を信じてください。そして、罪の赦しと永遠のいのちをいただいでください。復活の希望に生きる生き方を始めようではありませんか。



「ライラック」 — リラの花 ^{ムラサキハシドイ} 紫丁香花 —

ライラックの花が咲き始めると
北の街では 待ちこがれた春がやって来たと 喜ぶのである
紫色の花から 甘酸っぱい香りがただようと
胸にいっぱい吸いこんでいたと 聞いたことがある

ライラックは アカシアの花と共に 明治の中ごろ 欧米から入って来た
そのためか 和名のムラサキハシドイより
英名のライラック フランス名のリラの方が よく知られているのだ
落葉性の小高木である

庭に植えると 高さ2メートル余りにしかならない
花は ^{エンセイ}円錐状に密生して 小さな花が たくさん咲く
夏が高温多湿の 南日本では 育ちが悪く
夏も夜には低温になる 山間地や北日本で よく育つ

ライラックは 札幌の街を彩る花木として有名である
昭和35年 札幌市の木を決める市民投票で
アカシアとライラックが最終候補となり
わずかの差で ライラックが勝ったというエピソードがある
ライラックが咲く頃 オホーツク海気圧の影響で
寒さが戻ってくることがあるが これを「リラ冷え」と呼んでいるそうだ

あなたの御言葉は わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯